

# 経営比較分析表（平成30年度決算）

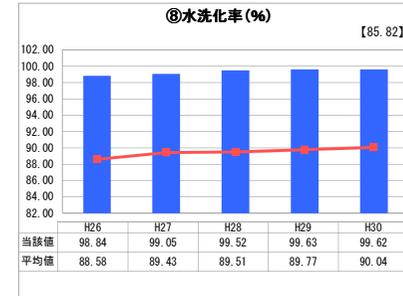
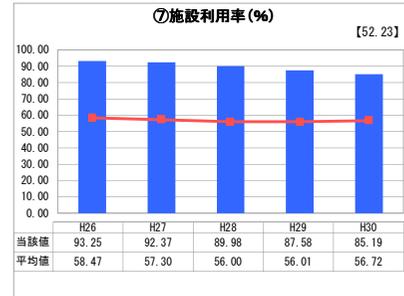
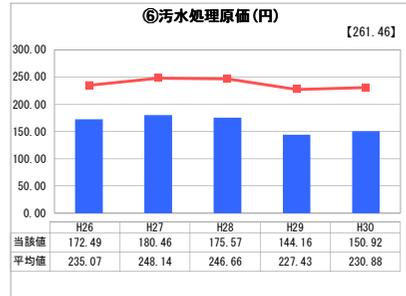
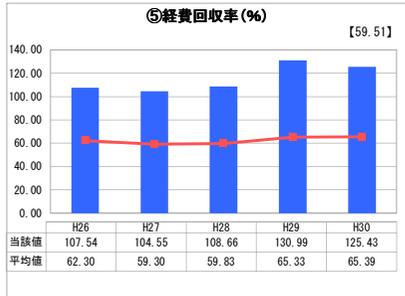
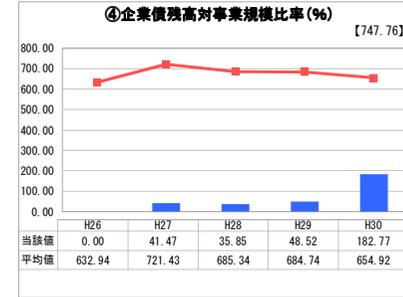
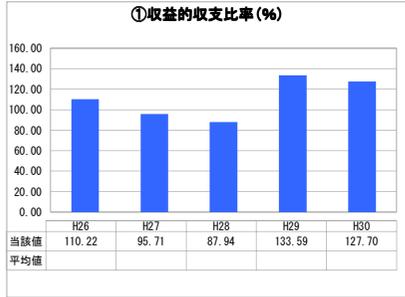
山形県 朝日町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	11.73	51.46	3,456

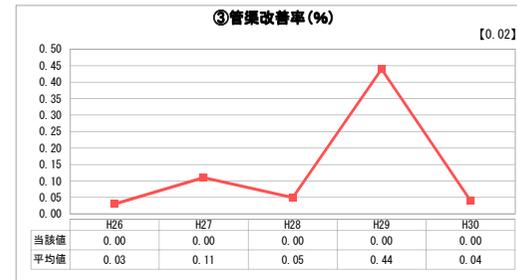
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
6,869	196.81	34.90
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
799	0.55	1,452.73

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率、経費回収率は100%を超えているものの、人口減少により使用料は減少傾向となっており厳しい状況にある。今後も更なる経費削減が必要である。
- ・平成29年度から3年間、大規模改修工事の実に伴う地方債発行により企業債残高対事業規模比率は上昇している。
- ・汚水処理原価は、全国・類似平均値より低いが、今後も投資の効率化、経費の削減を行っていく必要がある。
- ・施設利用率、水洗化率は全国・類似平均値より高いが、施設利用率は右肩下がりの傾向にある。

### 2. 老朽化の状況について

- ・平成29年度から3年間の大規模改修工事により、施設・設備の更新を実施した。今後は、管渠の改修を計画的に実施していく必要がある。

## 全体総括

- ・平成29年度から3年間の大規模改修工事に伴う地方債発行により、令和4年度に地方債償還金は現在より倍増し厳しい状況となる。対応策として使用料の値上げを予定しているが、併せて投資の効率化、経費の削減により経営の健全化を図っていく。
- ・施設・設備の更新は一段落したため今後は、管渠の改修を計画的に実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。